

各部門紹介

第2回

リハビリテーション室

病院紹介シリーズ 第2回目

今回は、 リハビリテーション室の紹介です。

新病院開設から丸3年が過ぎましたが、当院リハビリテーション室（以下リハビリ室）は、旧病院時代に比べてスタッフも増え、現在理学療法士4人、作業療法士2人、医療助手1人となり、若いスタッフを中心に日々患者様の治療にあたっています。

今回は、入院されている患者様への実際のリハビリの内容や流れをご紹介します。

【入院中のリハビリ】

脳卒中や骨折などの発症後、主治医からの指示によりリハビリが開始となります。当院リハビリ室には、『理学療法』と『作業療法』があり、各々の専門分野からのアプローチを行います。『理学療法』では足の機能や体力の回復、日常生活に必要な基本動作（起き上がり、立位等）、歩行練習等を行っています。そして『作業療法』では手の機能や食物を飲み込んだりする機能の回復を図ったり、また在宅や社会復帰に向けて家事動作等の応用動作の練習も行っています。主治医・看護師等と共に患者様一人一人に合わせた目標設定とプランでリハビリを進めていきます。

【退院へ向けての準備】

退院へ向けて在宅での生活の準備をします。患者様・リハビリ担当者・相談員とともに自宅への訪問をし、手すり設置や段差解消等の環境整備や、車椅子やベッド等福祉用具の導入を専門の業者と共に検討し、安心して在宅生活を送れるよう支援します。

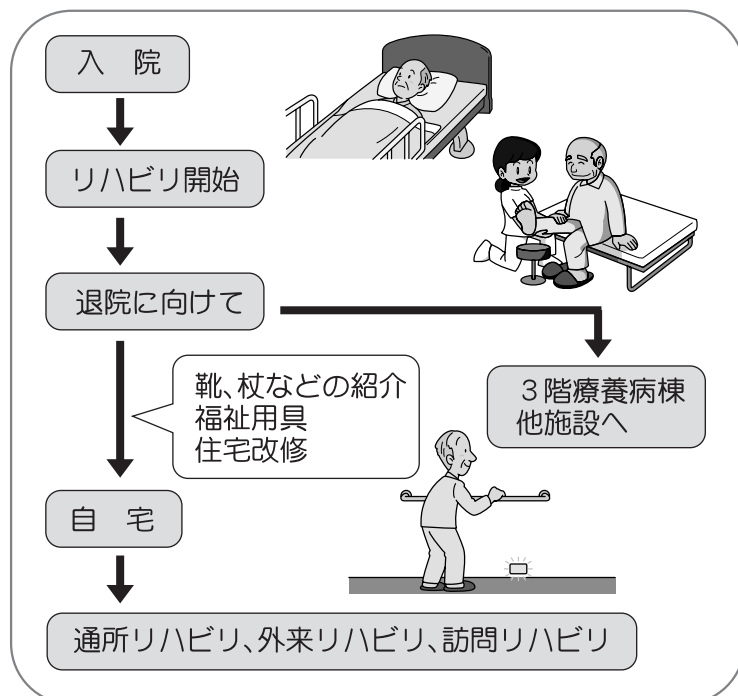
【退院後のフォロー】

退院後は必要に応じて治療として外来通院にてリハビリを行います。また、介護保険を使つてのリハビリも行っております。通所リハビリにて理学・作業療法

士による個別リハビリやレクリエーションを行い、身体機能維持やご家族の介護負担軽減を図ります（送迎はスタッフが行います）。さらに、通所サービス利用が困難な方へは、自宅に理学・作業療法士が伺い在宅生活に即したリハビリを提供する訪問リハビリも行っています。これらのサービスにより退院後も継続して患者様やご家族の在宅生活支援を行います。

もちろん入院の患者様のみではなく、外来通院、通所リハビリ、訪問リハビリ、介護療養病棟のみご利用の患者様に対しても同様に理学・作業療法士が精一杯治療や支援にあたらせていただいています。

また杖やリハビリシューズの紹介も行っていますので、お気軽にリハビリ室までご相談ください。



地域に密着した

医療を目指して